



寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じられる頃となりました。

寒さに負けず、体を動かして遊ぶとうっすら汗をかくほど子どもたちは

元気いっぱいです。

★11月のりす組★



すもう大会に向け、たくさん練習をしました。初めは、友だちを押すことがわからず困惑する姿もありましたが、ほかのクラスの練習の様子を見学したことでイメージが持てるようになり、少しずつすもうらしい取り組みができるようになりました。名前を呼ばれると元気いっぱい返事をして土俵に上がり、とても楽しんでいることがわかりました。「はっけよい、する？」と楽しみにしている子もいました。本番ではいつもと違う雰囲気緊張する姿もありましたが、一人一人が頑張る姿を見ていただけたかと思えます。お忙しい中たくさんの参観、ありがとうございました。



また、今月から乾布摩擦が始まりました。タオルを渡すと「1、2、3、4する！」

と楽しんで取り組んでいます。最初は保育教諭が「お袖ぎゅっぎゅしてね」と袖をまくることを伝えていたのですが、今ではタオルを受け取る前に準備している子も多くなりました。また、終わったタオルはできるだけ自分でたたむよう声をかけています。まだ少し難しい子も多いですが、たたむことに興味を持ち、積極的に取り組む姿には成長を感じます。子どもたちの「やりたい」という気持ちを大切に、今後も見守っていきます。

☆エピソード☆

天気のいい日に窓を開けていると、カメムシがたくさん入ってくることもあり、子どもたちにも「臭くなるから触らないでね」と声をかけていました。ある日窓の外にハチが止まっている様子を興味深く見ていたAくん。

Aくん「せんせい、むーむー」
 保育教諭「本当だ、虫さん窓にいるね」
 Aくん「あ、くちゃ！」(鼻をつまむ)
 保育教諭「臭い虫もいるね！でもこの虫はハチさんだよ」
 Aくん「ハチさん！」
 Bちゃん「あ、むーむー！くちゃ！」
 Aくん「くちゃ、ちがう！ハチさん」

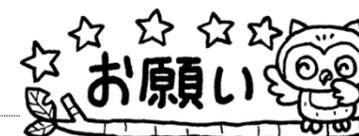


※空を飛ぶ小さな生き物はすべて「むーむー」と呼んでいたAくんでしたが、このやりとりを通して、「臭い虫」ではない「ハチ」という虫がいることに気付いたようでした。またそれをほかの友だちとも共有している姿にはとても驚きました。最近、絵本のイラストや虫や植物に興味を持ち、「これは？」と聞いてくる子も増えてきました。子どもたちに寄り添いながらいろいろな言葉を伝え、コミュニケーションを楽しめるように関わっていきます。

○絵本の紹介○

「おれたちばいきん まけないぞ！」

25日に持ち帰った月間絵本です。手洗いのシーンでは、保育教諭の真似をしながら手をこすったり、手を組んで指の間をこすったりしながら一緒に見えています。園でも園庭から帰って来た時や給食前には必ず手を洗うのですが、「ばいきんばいばい」と手洗いをする子も増えました。おうちでもぜひ一緒に読んだり手を洗ったりしてみてくださいね。



☆服や肌着、靴下など、お友だちと同じものもありますので、すべてに記名があるか、今一度確認をお願いいたします。